

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者
事業開始年度	令和2年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	男女共同参画共生社会学習・安全課		男女共同参画共生社会学習・安全課長 安里 賀奈子
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第5次男女共同参画基本計画(令和2年12月25日閣議決定)、成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定)、女性活躍・男女共同参画の重点方針2022(令和4年6月3日すべての女性が輝く社会づくり本部決定)、経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定)		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費		
施策	1-6 男女共同参画・共生社会の実現及び学校安全の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-1_6.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	少子高齢化、Society5.0の実現を見据える中、女性活躍の推進は社会・経済の持続可能な発展のために重要である。女性の就労をめぐる、近年、就労率は上昇傾向にあるものの、過半数は非正規雇用であり、壮年期を迎えた女性やひとり親世帯の母親等は、貧困等の生活上の困難に陥りやすい状況にある。一方で、子育てが一段落した中高年女性の社会参画への期待が高まっている。 こうした多様な状況や年代の女性に対する「学び直し」を通じたキャリア形成支援等に取り組むことにより、人生100年時代において、すべての女性が学業や仕事、子育て、地域活動への参加等、様々な役割を果たしながら自ら多様な選択をできる社会の構築を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	令和2年12月に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」では、社会の多様性と活力を高め我が国経済が力強く発展していく観点や、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から、指導的地位への女性の参画の拡大が極めて重要とされ、「2030年代には、誰もが性別を意識することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会となることを目指す」とことや、「そのための通過点として、2020年代の可能な限り早期に指導的地位に占める女性の割合が30%程度となるよう目指して取組を進める」ことが新しい目標として掲げられたところである。 また、女性管理職の割合が依然として低い状況にある学校教育分野においても、女性のさらなる参画を推進するため、2025年までの成果目標として、初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合(校長20%、副校長・教頭25%)や大学の教員に占める女性の割合(教授等23%、准教授30%)等が示されている。						
事業概要 (5行程度以内)	大学、男女共同参画センター、企業等の連携により、キャリアアップ・キャリアチェンジ等に向けた意識醸成・情報提供、相談体制の整備、学習プログラムの設計等を総合的に支援する実証モデルを構築する。(取組A) また、学校教育分野において女性の採用・登用が進まない地域に対し、各地域が抱える課題について地域の教育関係者と共有するとともに、他地域の好事例やロールモデル等の提供を行い、当該地域における女性の採用・登用に向けた取組について支援を行う。さらに、全国フォーラムを開催し社会的機運を高め、上記で明らかとなった地域ごとの課題や収集した好事例等について横展開を図る。(取組B)						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1376840_00001.htm						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	34	24	24	21	29
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	34	24	24	21	29	
	執行額(G)		29	18	20		
	執行率(%) =(G)/(F)		84%	73%	84%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		84%	73%	84%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		教育政策推進費		-		
	(目)	教育政策推進事業委託費	13.6	21.6			
	(目)	庁費	3.6	3.6			
	(目)	職員旅費	1.9	1.9			
	(目)	委員等旅費	1.1	1.1			
	(目)	諸謝金	0.8	0.8			
		その他		0.0			
	計(A)		21	29			

活動内容① (アクティビティ)		大学、男女共同参画センター、企業等の連携により、キャリアアップ・キャリアチェンジ等に向けた意識醸成・情報提供、相談体制の整備、学習プログラムの設計等を総合的に支援する実証モデルを構築する。(取組A)								
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		関係機関等との連携による女性のキャリアアップやキャリアチェンジ等を支援するモデルの構築	多様なチャレンジに寄り添う学び・社会参画支援モデルの構築の実施団体数	活動実績	箇所	4	4	3	-	-
				当初見込み	箇所	4	4	4	1	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	「第5次男女共同参画基本計画」で掲げる「指導的地位に占める女性の割合が30%程度となるよう目指して取組を進める」ために、多様なチャレンジに寄り添う学び・社会参画支援モデルを構築し、女性の社会参画を推進する必要がある。本事業では、キャリアアップ・キャリアチェンジ等に向けた意識醸成・情報提供、相談体制の整備、学習プログラムの設計等を総合的に支援するモデルを構築するものであり、プログラムの有効性を高めることを目的とした事業であることから、事業参加者(プログラム受講者等)からの評価を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		実証事業の中で実施する事業参加者(プログラム受講者等)に対するアンケート調査において、80%以上の評価を得る	事業参加者の評価「キャリアアップに役に立つ」と回答した受講者数/実証事業の中で実施する事業参加者数(プログラム受講者等)	成果実績	%	94	94	100	-	
				目標値	%	80	80	80	80	
				達成度	%	117.6	116.9	125	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		本事業では、キャリアアップ・キャリアチェンジ等に向けた意識醸成・情報提供、相談体制の整備、学習プログラムの設計等を総合的に支援するモデルを構築するものであり、プログラムの有効性を高めることを目的とした事業であることから、事業参加者(プログラム受講者等)からの評価を長期アウトカムとして設定している。なお、本事業は、第5次男女共同参画基本計画で掲げる「指導的地位に占める女性の割合の向上」に資するものであるが、その実現は本事業によってのみ達成できるものではないため、本事業のアウトカムとして設定することは困難である。								

活動内容② (アクティビティ)		学校教育分野において女性の採用・登用が進まない地域に対し、各地域が抱える課題について地域の教育関係者と共有するとともに、他地域の好事例やロールモデル等の提供を行い、当該地域における女性の採用・登用に向けた取組について支援を行う。さらに、全国フォーラムを開催し社会的機運を高め、上記で明らかとなった地域ごとの課題や収集した好事例等について横展開を図る。(取組B)								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		学校教育分野における女性の意思決定過程への参加を促進する	学校教育分野における女性参画を促進するための全国フォーラムによる普及啓発の実施団体数	活動実績	箇所	-	-	1	-	-
				当初見込み	箇所	-	-	1	1	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	学校分野における女性の採用・登用をテーマとする全国フォーラムを開催し、各地域が抱える課題の共有、好事例やロールモデル等の提供を通じて、女性の採用・登用に関する理解促進を図るため、アンケート調査における事業参加者からの評価を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		普及啓発事業の中で実施する事業参加者(ワークショップ参加者等)に対するアンケート調査において、80%以上の評価を得る	事業参加者の評価「学校教育分野における女性参画を促進する重要性を理解した」と回答した参加者数/普及啓発事業の中で実施する事業参加者数(ワークショップ参加者等)	成果実績	%	-	-	72	-	
				目標値	%	-	-	80	80	
				達成度	%	-	-	89.8	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	普及啓発事業の事業参加者の評価において、女性参画を促進する重要性の理解度が高まることにより、学校教育分野において「男女共同参画」を扱う研修の実施数の増加が考えられるため、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における「男女共同参画」の初任者研修における校内研修・校外研修(いずれかで実施)の実施率を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		学校教育分野における女性の参画を推進し、「男女共同参画」の初任者研修における校内研修・校外研修の実施率を90%とする	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における「男女共同参画」の初任者研修における校内研修・校外研修(いずれかで実施)の実施率	成果実績	%	-	53	-	-	
				目標値	%	-	-	-	90	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	学校教育分野において「男女共同参画」を扱う研修の実施率が増加することで女性の採用・登用に関する意識が高まり、第5次男女共同参画基本計画で掲げる初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合の向上に資することが考えられるため、長期アウトカムとして設定した。 なお、第5次男女共同参画基本計画では成果目標が令和7年度と設定されているが、次期計画において新たに目標値が設定される場合には、長期アウトカムの目標最終年度及び目標値を更新する。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		初等中等教育機関の副校長・教頭に占める女性の割合を向上する	初等中等教育機関の副校長・教頭に占める女性の割合	成果実績	%	22	23	24	-	
				目標値	%	25	25	25	25	
				達成度	%	87.2	92.4	96	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		学校基本調査								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)		学校教育分野において女性の採用・登用が進まない地域に対し、各地域が抱える課題について地域の教育関係者と共有するとともに、他地域の好事例やロールモデル等の提供を行い、当該地域における女性の採用・登用に向けた取組について支援を行う。さらに、全国フォーラムを開催し社会的機運を高め、上記で明らかとなった地域ごとの課題や収集した好事例等について横展開を図る。(取組B)								
↓										
活動目標及び活動実績③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		学校教育分野における女性の意思決定過程への参加を促進する	学校教育分野における女性参画を促進するための全国フォーラムによる普及啓発の実施団体数	活動実績	箇所	-	-	1	-	-
				当初見込み	箇所	-	-	1	1	-
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	学校分野における女性の採用・登用をテーマとする全国フォーラムを開催し、各地域が抱える課題の共有、好事例やロールモデル等の提供を通じて、女性の採用・登用に関する理解促進を図るため、アンケート調査における事業参加者からの評価を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		普及啓発事業の中で実施する事業参加者(ワークショップ参加者等)に対するアンケート調査において、80%以上の評価を得る	事業参加者の評価「学校教育分野における女性参画を促進する重要性を理解した」と回答した参加者数/普及啓発事業の中で実施する事業参加者数(ワークショップ参加者等)	成果実績	%	-	-	72	-	
				目標値	%	-	-	80	80	
				達成度	%	-	-	89.8	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	普及啓発事業の事業参加者の評価において、女性参画を促進する重要性の理解度が高まることにより、学校教育分野において「男女共同参画」を扱う研修の実施数の増加が考えられるため、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における「男女共同参画」の初任者研修における校内研修・校外研修(いずれかで実施)の実施率を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9 年度	
		学校教育分野における女性の参画を推進し、「男女共同参画」の初任者研修における校内研修・校外研修の実施率を90%とする	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における「男女共同参画」の初任者研修における校内研修・校外研修(いずれかで実施)の実施率	成果実績	%	-	53	-	-	
				目標値	%	-	-	-	90	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	学校教育分野において「男女共同参画」を扱う研修の実施率が増加することで女性の採用・登用に関する意識が高まり、第5次男女共同参画基本計画で掲げる初等中等教育機関の教頭以上に占める女性の割合の向上に資することが考えられるため、長期アウトカムとして設定した。 なお、第5次男女共同参画基本計画では成果目標が令和7年度と設定されているが、次期計画において新たに目標値が設定される場合には、長期アウトカムの目標最終年度及び目標値を更新する。								
成果目標及び成果実績③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		初等中等教育機関の校長に占める女性の割合を向上する	初等中等教育機関の校長に占める女性の割合	成果実績	%	16	17	19	-	
				目標値	%	20	20	20	20	
				達成度	%	80.5	86.5	94	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		学校基本調査								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

[illegible]

※なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
20.4百万円

・諸謝金
・職員旅費、委員等旅費
・庁費

0.3百万円
1.8百万円
3.4百万円
を含む

委託【随意契約(企画競争)】

A.大学
(全3件)
7.1百万円

大学や男女共同参画センター、企業等の連携により、キャリアアップやキャリアチェンジ等に向けた意識醸成や相談体制の充実を含め、学習プログラムの開発等女性の多様なチャレンジを総合的に支援するモデルを構築するための実証事業

委託【随意契約(企画競争)】

B.独立行政法人国立女性教育会館
7.7百万円

学校教育分野における女性の意思決定過程への参加を促進させる普及啓発事業

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	講座デザイン・テキスト作成等	1	雑役務費	オンデマンド配信動画編集業務等	6
諸謝金	会議出席謝金等	1	印刷製本費	資料集作成・印刷等	1
印刷製本費	パンフレット作成・印刷等	0	人件費	事務補助員賃金	1
その他	旅費、消耗品費、通信運搬費	0	諸謝金	会議出席謝金等	0
			その他	旅費、消耗品費、通信運搬費	0
計		3	計		8

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

